



求職者に狭き門

縣内二月の労働市場の断面

縣職業安定課では縣内従業員五〇人以上の五八事業所に對し二月の雇用状況について調査したところ、これら事業所の雇用量は漸次減少しつつあることが判つた、即ち十二月一九、四四八名、一月一九、三〇〇名、二月一八、七二三名であり、二月における減員は九〇名であるために増員は僅かに二八五名である。減員率の高い産業は化學工業、製糸業、紡績業、造船業で又増員率が減員率をオーバーしてゐる産業は僅かに金屬工業その他の綿加工業製造工業にすぎない。これを公共職業安定所の窓口から見ると、求職者は新規求職者十二月、一四九〇名一月、四二四二名二月、七二二三名(新規求職者も含む)再來求職者の來所數十二月二、三三五、一月二、七〇九、二月三、〇五九とどちらも増加している。又失業保険給付人員も漸増し、十二月三八三名一月四〇八名二月四三九名となつており商職者の増加を示している。之れに反し求人數を見ると十二月二、三二一名一月三、六二九名二月三、八八三名と増加しているが新規求職者に對する求人數一、八九三名を除くと求人面は減少の傾向にある。常就職者數は十二月五二八名一月三九六名二月二八八名で數においては現状維持の状態であるが就職率は十二月八五、三%一月四四、九%二月四四、四%と低下し就職難を物語つてゐる。以上の様な求人數の減少、求職者の増加、就職率の低下と云ふ雇用面の暗い春について縣主務課では今後經濟九原則が遂行されれば一層労働市場の弾力性が失はなれ、失業者の増加に拍車がかかり、雇用の機會の狭隘化に加えて實業問題はますます深刻化されるだろうと見てゐる。

よくぞお還り 温情で迎えよう 民生部長福井榮一氏談 引揚援護對策について 昨年の夏に中府會が防衛後上陸約二日間は風雨が続き、避難民の生活は大変な苦しみを受けた。この時、縣民の温情で迎えよう、と福井部長は述べた。...

蚕絲業當面の課題

一、単一爲替の影響 二、原料の不足 三、技術の向上 四、生産の増進 五、販路の拡大 六、品質の向上 七、コストの削減 八、需要の開拓 九、情報の収集 十、協力の促進

經營の合理化による改良と増産

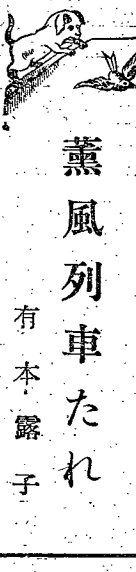
經營の合理化は、生産性の向上とコスト削減の鍵となる。技術革新と設備投資は、生産能力を大幅に向上させる。また、労働者の教育と訓練は、生産効率を高める重要な要素である。

第二回經濟安定委員會

四月二十一日午後一時、縣會議事室で第二回經濟安定委員會が開かれた。委員は各委員より、九原則の達成状況を報告し、今後の対応策について協議した。...

關西線に乗客は柄が悪い

關西線に乗客は柄が悪い、と最近よく聞かれる。これは、乗客の服装や振舞いが、線路の質やサービスの悪さを反映している。改善を求め、乗客の満足度を高める必要がある。



薫風列車たれ 有本露子